

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>◆南区家族ふれ愛事業 ◆夏休みの宿題サポート事業</p> <p style="text-align: right;">【事業費予算 1,000千円】</p>
事業目的・概要	<p>◆南区家族ふれ愛事業の14年目として、児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆夏休みに子どもたちの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を活かし、世代間交流の場とする。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展及び映画上映会・セミナー開催 【展示】 ■日時: 令和7年11月2日(日)～11月19日(水) ■会場: 白根学習館1階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数: 517点 ・(絵画) 南区内小学校4年生の児童230人から出品があった。 ・(標語・川柳) 南区内中学校1年生の生徒287人から出品があった。 ※地区文化祭、地域生活センター(庄瀬、臼井、大通) で絵画・川柳展示 【上映会とトークセミナー】 ■日時: 令和7年11月16日(日) ■会場: 白根学習館 ルーム1・2 ・特別企画「夢みる小学校完結編上映会とトークセミナー」 ・セミナー講師: 光の森学園 寺嶋聡美理事 来場: 57人 【広報】 ・第3部会の「白ねこマルシェ」にブース設営し、来場者へ展示や上映会のPRを行った。</p> <p>◆夏休みの宿題見守り事業 ○「みんなで宿題! 4days～ハッピー夏休み♪～」 ■日時: 令和7年7月22日(火)～25日(金) 午前9時30分から10時30分 ■会場: 白根児童センター(2階 工作室) 参加者: 児童 延69人(22日: 18人、23日: 17人、24日: 19人、25日: 15人) ボランティア 延12人(22日: 3人、23日: 3人、24日: 3人、25日: 3人) ・小学生を対象に各日20人、保護者などからボランティアを募集し実施。終了後にくじ引きも行った。</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 【展示】 ・区内の全小・中学校から出品があり、恒例事業として学校側にも定着している。 ・展示を1階に集約したことで、見やすくなった。 ・アンケート結果(パネル投票): 回答72名(良かった64、普通7、良くなかった1) 【上映会とトークセミナー】 ・小学生とその家族を対象とし、アンケートも概ね好評だった。 ・ターゲット層を鑑み申込方法をウェブのみとしたが、電話による対応も必要。 【課題及び今後の取組】 ・学校によってはスケジュールが厳しく、締切内での提出が難しく、依頼方法の見直しが必要。 ・学校ごとに出展数に異なるので、より多く出展されるよう啓発を続ける。 ・小中学校との連携事業としては良いが、今後は「家族」という言葉を外し、幅広く交流する「ふれ愛」として取り組む。</p> <p>◆夏休みの宿題サポート事業 【評価】 ・複数の小学校児童が学習を行えたことで、家庭支援の一助となった。保護者からは継続を希望する声もあった。 ・参加者募集や申込受付など、会場となった白根児童センターの協力のもと実施できた。 ・区バスを利用して参加する児童もあり、取り組みが広域的となった。</p> <p>【課題及び今後の取組】 ・白根児童センターで4日間実施したが、限られた委員数で他地域でも実施可能か検討する。 ・アンケートの回答から運営方法などを見直し、より児童たちにとって有意義な開催に向けブラッシュアップを進める。</p>
備考	